

となりのハローワーク便り

～魅力的な求人づくりをお手伝いするノウハウ通信～

令和8年7月7日 Vol.8-1（令和8年度第1号）



こんにちは！いつもハローワーク金沢をご利用いただき、ありがとうございます。

令和7年度からはじめました「となりのハローワーク便り」ですが、大変好評をいただいておりますので令和8年度も、求人票のちょっとした工夫のポイントや、応募が集まりやすくなるコツ、採用にまつわるお役立ち情報などを、お届けしていく予定です。

求人票は、企業と求職者をつなぐ大切な“最初の一步”です。この便りが、皆さまの採用活動のヒントになれば幸いです。「読みやすく、ちょっとためになる」そんな通信を目指して、私たち職員が手作りで作成していますので、ぜひ、ちょっとした空き時間に気軽に読んでみてください！

求人票を作成するには…（その1）

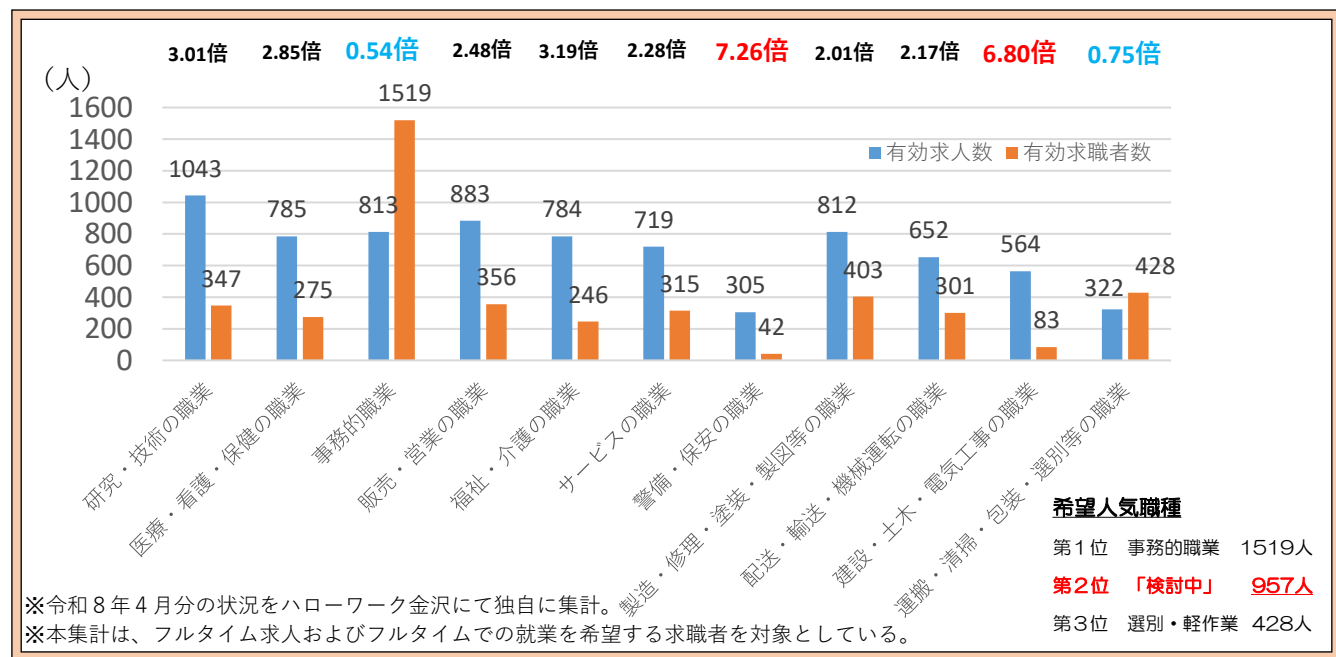
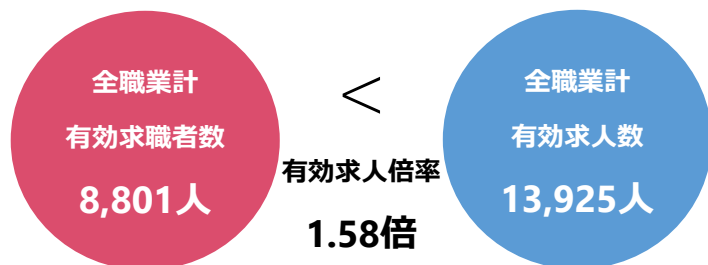


＜まず求人・求職の現状について把握しておきましょう！＞

ハローワーク金沢管内の令和7年度の有効求人倍率は、1.58倍となりました。これは、求職者2人に対しておよそ3名分の求人があることを意味し、求職者が求人を選ぶことができるということになります。

また、求人の仕事内容および求職者の希望する仕事内容を職業別に分類して、有効求人倍率を示したものが以下のグラフになります。

※ハローワーク金沢にて独自に集計。
※求人数、求職者数は月平均である。



先ほどの1.58倍よりも高い倍率となっている職種がほとんどだということがおわかりいただけるかと思います。実は、上記のグラフでは「希望職種がまだ決まっていない（検討中）」という957名の求職者は除かれているため、倍率が高ぶれする傾向にあるのです。

事務的職業を希望する求職者の次に「職種検討中」の求職者が多いのはあまり知られていないのではないのでしょうか。職種によっては倍率が高くなっているケースもありますが悲観するのではなく、『最低でも●●人程度には自社の求人を見てもらえるチャンスがある』と捉えていただければ幸いです。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。次回Vol.8-2では、ハローワークに登録している求職者の傾向や特徴についてお届けする予定です。引き続き、どうぞお楽しみに！